



日本シイエムケイ株式会社
(証券コード：6958)

2021年3月期 決算説明会資料

2021年05月19日

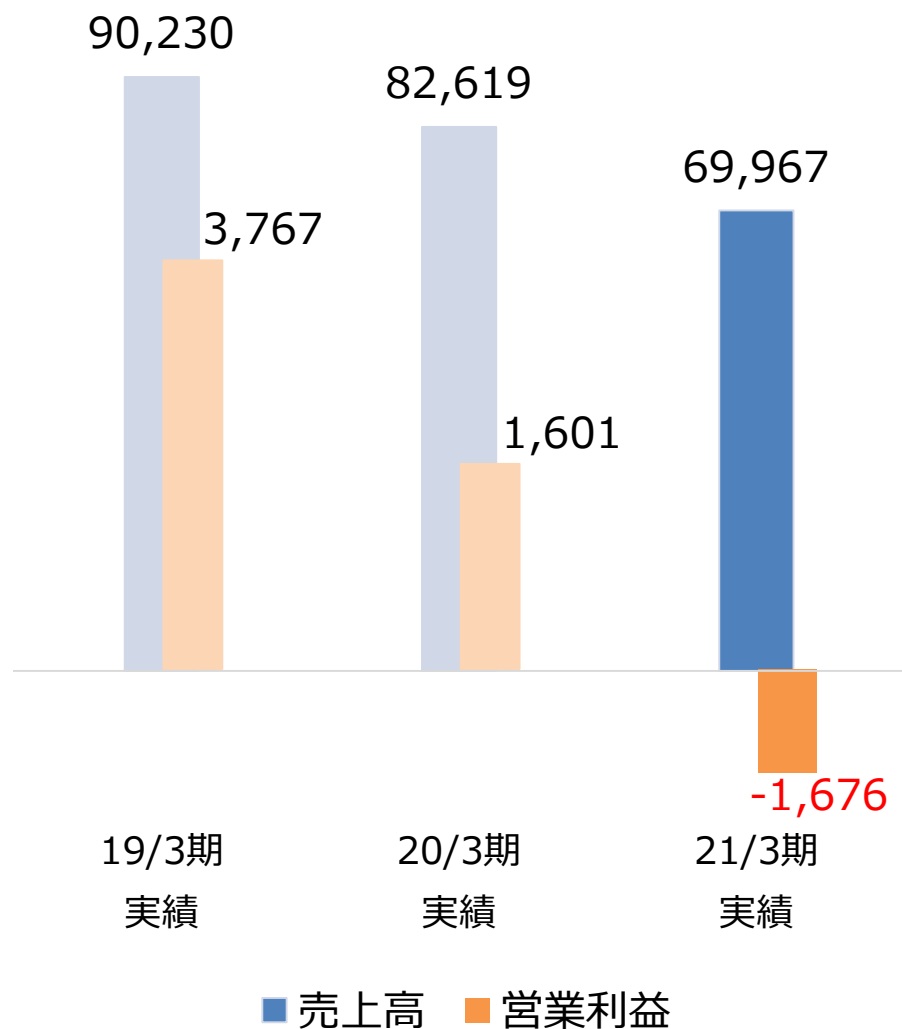
日本シイエムケイ株式会社

1. 2021年3月期 連結業績
2. 2022年3月期 連結業績見通し
3. 市場動向及び当社事業環境
4. 補足資料

1. 2021年3月期 連結業績

① 決算のポイント

(単位：百万円)



- 新型コロナウイルスの影響によるグローバルでの自動車の生産・販売減少の影響を受けて売上高は減収
- 固定費削減等を推進したものの、売上高の減少などの影響により営業損失計上

②連結損益

(単位：百万円)

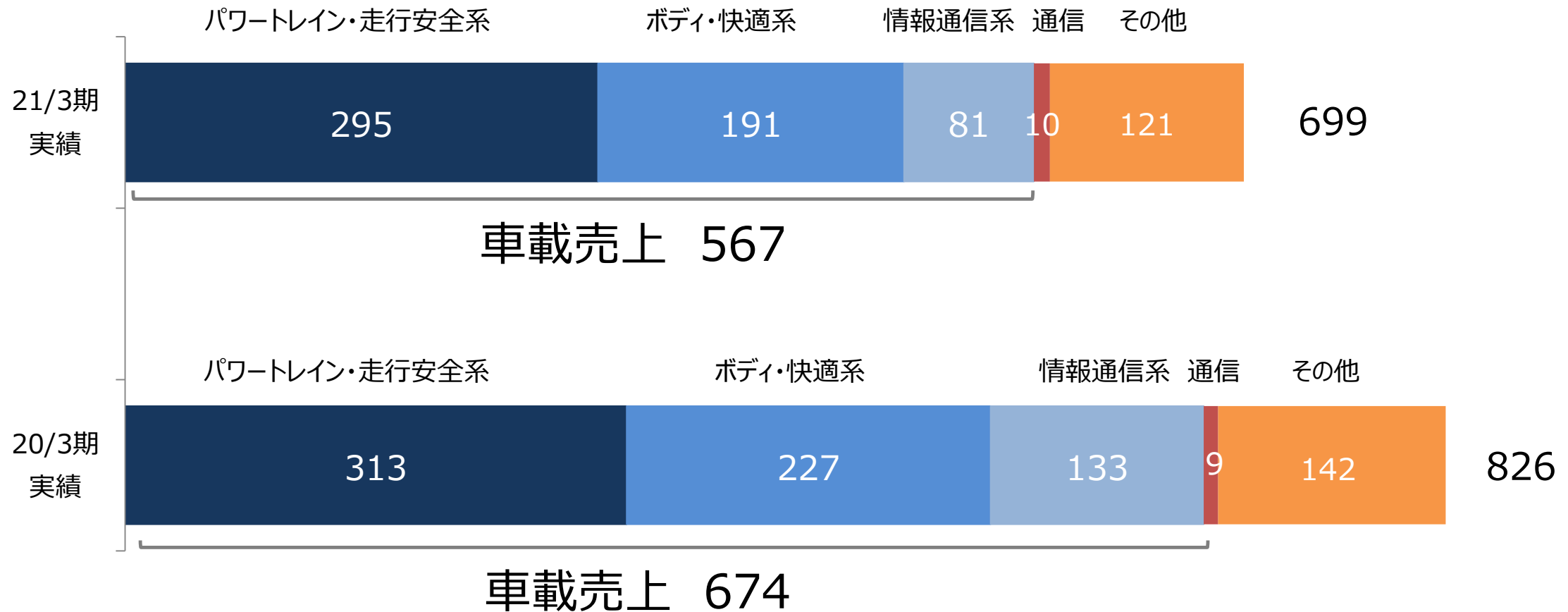
	20/3期 実績	21/3期 実績	前年同期比	
			増減	増減率
売上高	82,619	69,967	-12,652	-15.3%
営業利益	1,601	-1,676	-3,278	-
率	1.9%	-	-	-
経常利益	792	-1,511	-2,304	-
当期純利益	-1,128	-1,868	-740	-
平均為替レート (USD/JPY)	109.25	106.44	-2.81	-2.6%

※「親会社株主に帰属する当期純利益」を「当期純利益」として記載

③用途別売上高



(単位：億円)

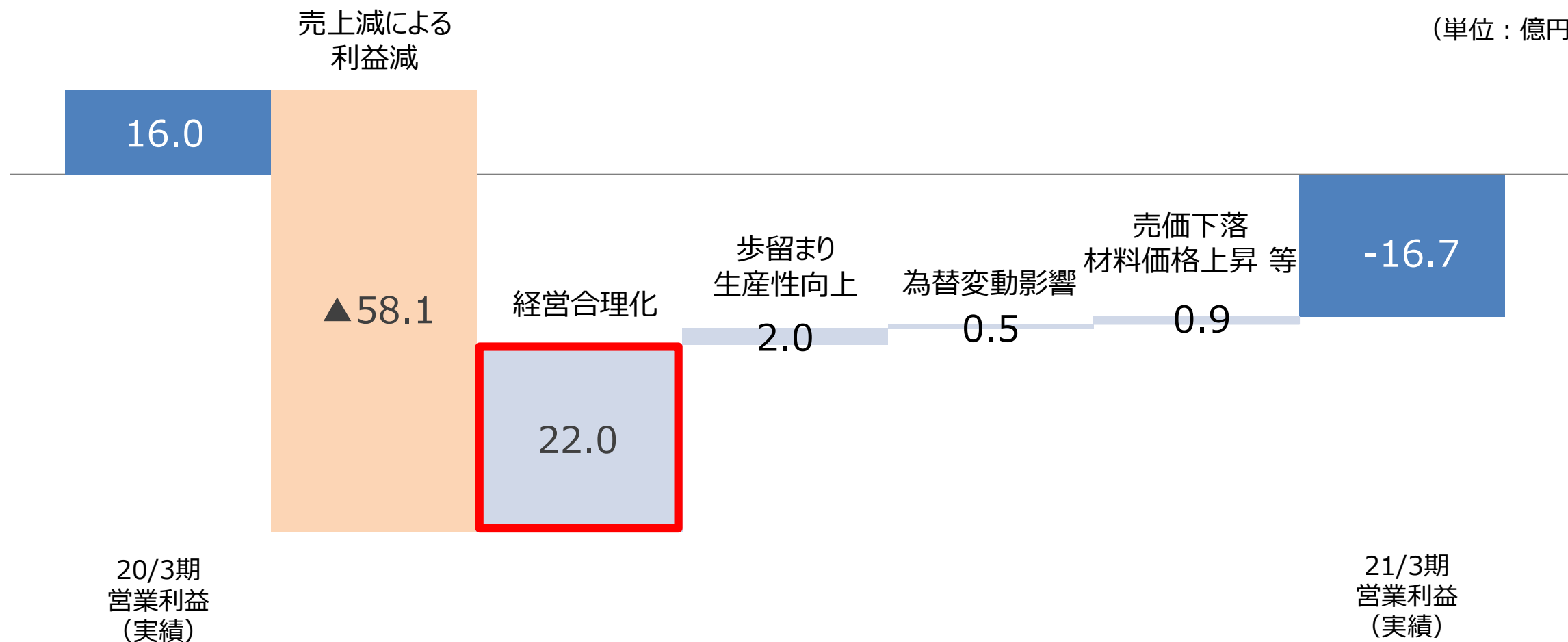


- 車載向け売上高は、コロナ影響による世界的な自動車の生産・販売が落ち込み
前期比15.8%減少

※「その他」：AV・デジタル家電、デジタルカメラ、アミューズメント、その他

④ 営業利益増減分析

(単位：億円)



- 経営合理化策：コロナ影響による売上高減少に対する効率的な減産体制等による固定費削減効果

⑤ 四半期売上高・営業利益推移

売上高推移

	20/3期				21/3期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
国内	125	127	120	110	94 (4-6月)	107 (7-9月)	119 (10-12月)	123 (1-3月)
海外	146	153	149	142	124 (1-3月)	98 (4-6月)	107 (7-9月)	136 (10-12月)
計	273	279	269	253	220	204	226	259
消去又は全社	▲60	▲62	▲65	▲61	▲55	▲48	▲44	▲62
連結	213	216	204	193	164	157	182	196

(単位：億円)

営業利益推移

	20/3期				21/3期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
国内	0.3	2.3	-0.3	-2.5	-6.0 (4-6月)	-6.6 (7-9月)	-1.3 (10-12月)	3.3 (1-3月)
海外	2.6	4.9	8.5	6.0	2.4 (1-3月)	-2.2 (4-6月)	-2.5 (7-9月)	1.6 (10-12月)
計	3.0	7.2	8.0	3.6	-3.6	-8.8	-3.8	4.9
消去又は全社	▲1.5	▲1.5	▲1.5	▲1.3	▲1.7	▲1.4	▲0.6	▲1.7
連結	1.4	5.7	6.6	2.3	-5.4	-10.2	-4.5	3.4

- 営業利益は4Qにて国内海外共に黒字化

2. 2022年3月期 連結業績見通し

① 連結損益

(単位：百万円)

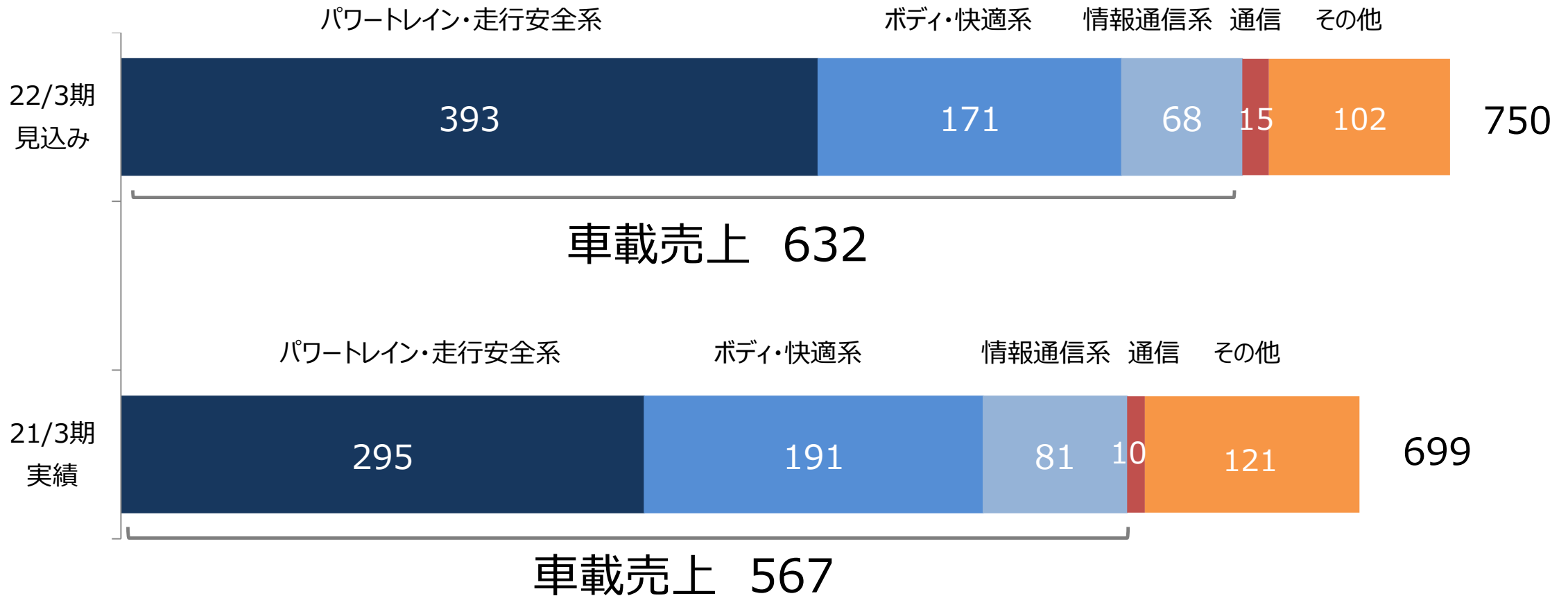
	21/3期 実績	22/3期 見通し	前年同期比	
			増減	増減率
売上高	69,967	75,000	+5,032	+7.2%
営業利益	-1,676	1,500	+3,176	-
率	-	2.0%	-	-
経常利益	-1,511	1,400	+2,911	-
当期純利益	-1,868	1,000	+2,868	-
平均為替レート (USD/JPY)	106.44	102.00	-4.44	-4.2%

※「親会社株主に帰属する当期純利益」を「当期純利益」として記載

②用途別売上高



(単位：億円)

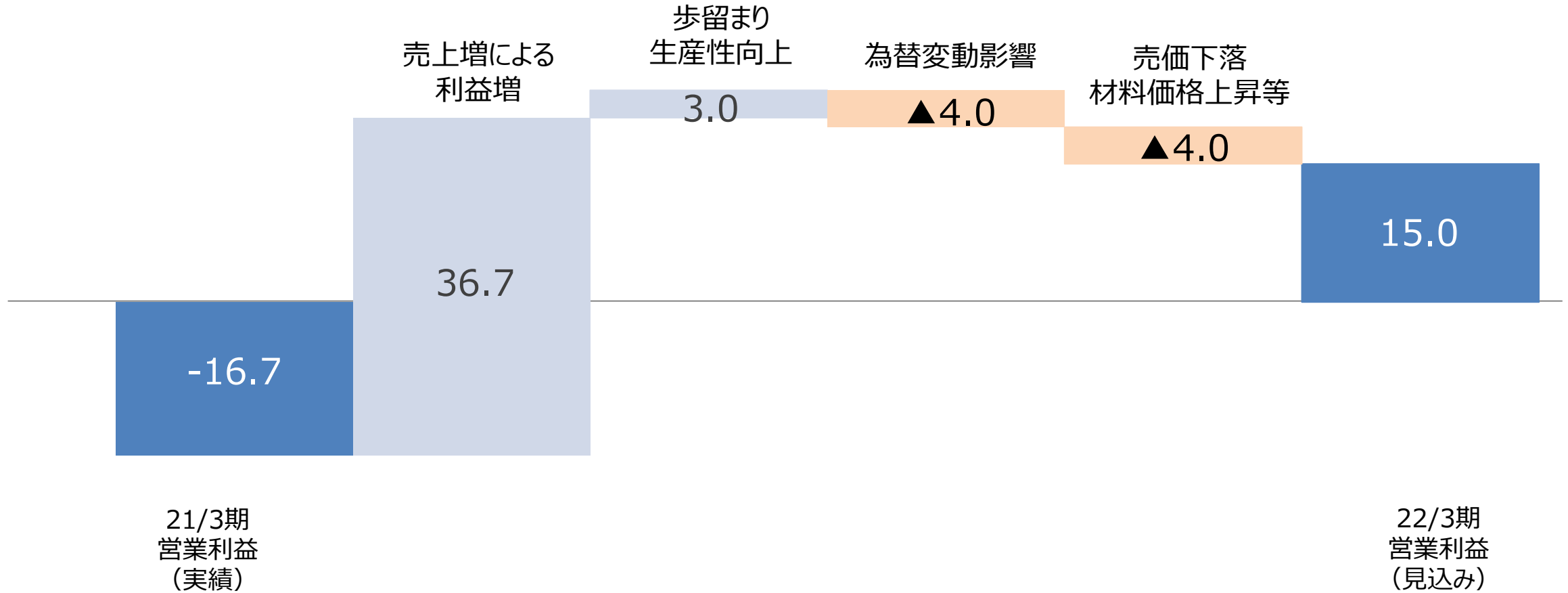


- 車載向け売上高は、注力分野のパワートレイン・走行安全系向けの販売が前期比33.1%増加

③ 営業利益増減分析



(単位：億円)



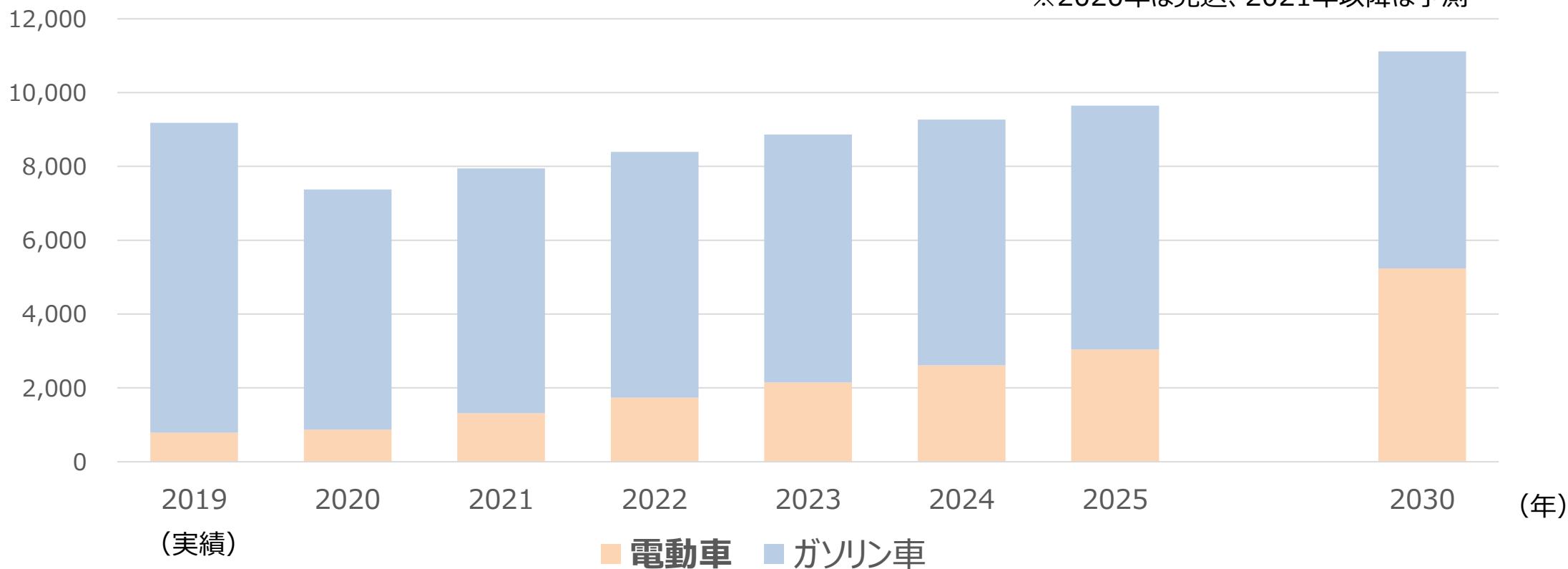
3. 市場動向及び当社事業環境

①世界自動車生産台数の市場規模予測

世界自動車生産台数予測

(単位：万台)

※2020年は見込、2021年以降は予測



▶ 電動車は2019-2030年の年平均成長率18.8%と高い成長率

②車載向けプリント配線板搭載動向（パワートレイン別販売予測）



分類	販売数量（千㎡）		CAGR (2030/2019)	コメント
	2019年実績	2030年予測		
エンジン車	39,600	30,570	▲2.3%	・1台当たりの使用量はガソリン車0.5㎡程度、HVは1㎡弱、PHV/EV/FCVは1㎡以上 ・電動車は、低価格車への普及に伴い1台当たりのプリント配線板の使用量は減少していくが、全体の使用量は電動車の販売台数の伸びにより高い成長率で増加すると推測される
HV	4,760	25,360	16.4%	
PHV	880	11,340	26.2%	
EV	1,960	14,620	20.0%	
FCV	僅少	1,000	-	
合計	47,200	82,890	5.3%	

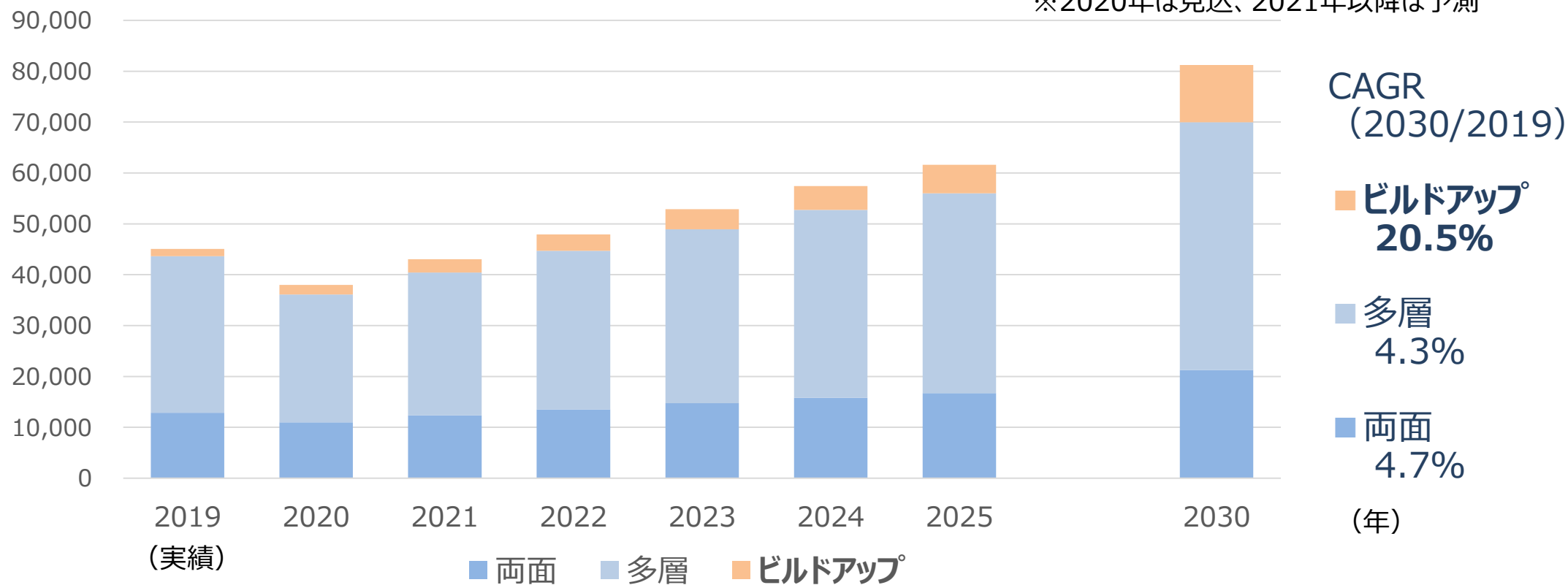
▶HV・PHV・EV向けにプリント配線板搭載が大幅に増加

③車載向けプリント配線板市場動向（基板種類別販売予測）

車載向けプリント配線板/基板種類別販売予測

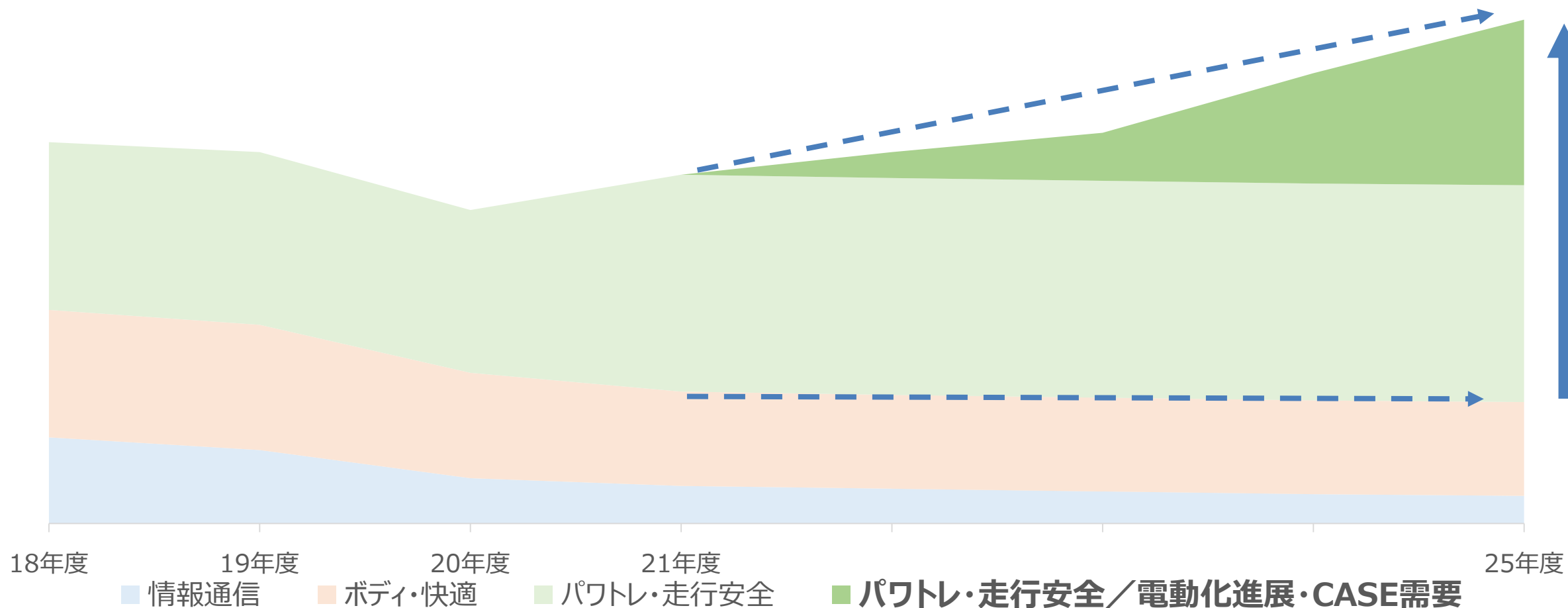
（単位：千㎡）

※2020年は見込、2021年以降は予測



▶ 需要の増加に対してビルドアップ配線板のニーズが高まる

④当社車載向け中期売上高構成イメージ



▶ 電動化進展・CASE需要の取込により、
パワートレイン・走行安全系向け売上を成長軌道に乗せる柱へ

⑤新規事業領域におけるターゲットアイテムと要求スペック

	2020年	2025年
アイテム	従来700MHz～4G (LTE)3.6GHz	5G(高速通信)3.6GHz～28GHz～6G ミリ波
基地局 (スモールセル) データセンター	マクロセル (10層以上 アスペクト10以上)	スモールセル (16層以上～アスペクト15以上) インピーダンス (±8%以下) 低誘電材料、板厚3mm以上 Local-5G関連 (16層以上～アスペクト15以上)
	サーバーSSDなど	
5G通信 モジュール	通信モジュール L/S=40/40um	通信モジュール(スマホ技術+高周波技術) L/S=30/30um
	デバイス分野 L/S=50/50um	パワーモジュール セラミック代替 L/S=40/40um 高耐熱・低弾性・特殊構造

▶ 5G普及に伴う通信関連市場におけるターゲットアイテム

⑥技術ロードマップ

車載用途	アイテム類	市場ニーズ	基板要求	2021年	2022年	2023年以降
Electric (電動化)	インバータ HEV/EV系ECU PCU/IPM バッテリー制御 ブレーキECU	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニットの小型化 (HDI : PPBU) ・高電圧化 (EVの電圧はガソリン車の10倍以上) ・高耐熱化 (民生品の1.5倍超) ・大電流化 (PHV・EV用、インバータ、コイル等) ・高放熱化 (プリント配線板を介しての放熱) 	HDI	量産中		
			次世代	試作	量産	
			厚銅	試作	量産	
ADAS (先進運転支援) Autonomous (自動運転) ↓ ↓ ↓ Connected (5G連携)	ミリ波レーダ センサ	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニットの小型化 (HDI : PPBU) ・アンテナ精度向上と安定化 (回路精度向上) ・低損失化 (低損失材料適用) ・次世代モデルに向けた高機能化 	HDI	量産中		
			MSAP	試作	量産	
	センシングカメラ	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニットの小型化 (HDI : PPBU) ・車載カメラ対応RF (厚板ジッド・フレックス配線板) 	HDI	量産中		
			高板厚RF	開発	試作	量産
	通信モジュール (DCM・V2X)	<ul style="list-style-type: none"> ・多ピンプロセス搭載 (ファイン化と多段HDI化) 	多段HDI	開発	試作	量産
	画像制御	<ul style="list-style-type: none"> ・多ピンプロセス搭載 (ファイン化と多段HDI化) ・統合ECUに統合化 	HDI	量産中		
多段HDI			開発	試作	量産	
統合ECU	<ul style="list-style-type: none"> ・多ピンプロセス搭載 (ファイン化と多段HDI化) 	多段HDI	開発	試作	量産	
5G通信	アンテナ/モジュール	<ul style="list-style-type: none"> ・通信関連機器向けモジュール (5Gインフラ/ Local-5G含) 	低損失 放熱	試作	量産	

▶ 5G通信を含むCASEへの対応 : ビルドアップ (HDI) のファイン/多段化による高機能・高信頼性要求に対応 19

4. 補足資料

①用途別売上高



(単位：億円)

		20/3期 実績	21/3期 実績	前年同期比	22/3期 見通し	前年同期比
車載		674	567	-106	632	+64
内訳	パワートレイン・走行安全系	313	295	-17	393	+97
	ボディ・快適系	227	191	-36	171	-20
	情報通信系	133	81	-52	68	-13
通信		9	10	+1	15	+4
その他		142	121	-21	102	-19
合計		826	699	-126	750	+50

※AV・デジタル家電、デジタルカメラ、アミューズメントは「その他」に含む。 21

②基板種類別売上高

(単位：億円)

	20/3期 実績	21/3期 実績	前年同期比	22/3期 見通し	前年同期比
ビルドアップ配線板	213	184	-29	201	+17
多層プリント配線板	424	363	-60	403	+40
両面プリント配線板	130	97	-33	100	+3
その他	57	53	-3	43	-9
合計	826	699	-126	750	+50

③地域別業績



(単位：億円)

	20/3期 実績		21/3期 実績		前年同期比	
	売上	営業 利益	売上	営業 利益	売上	営業 利益
日本	482	-0.2	443	-10.6	-39	-10.4
中国	285	19.0	233	5.3	-52	-13.7
東南アジア	247	-0.1	193	-7.8	-54	-7.6
欧米	58	3.1	39	1.8	-18	-1.2
計	1,074	21.8	909	-11.3	-165	-33.1
消去又は 全社	▲248	▲5.8	▲209	▲5.4	+38	+0.3
連結	826	16.0	699	-16.7	-126	-32.7

22/3期 見通し		前年同期比	
売上	営業 利益	売上	営業 利益
465	15.5	+22	+26.1
245	1.5	+12	-3.8
219	5.1	+25	+12.9
40	1.3	+1	-0.5
971	23.5	+61	+34.9
▲221	▲8.5	-11	-3.1
750	15.0	+50	+31.7

④設備投資



(単位：億円)

	20/3期 実績	21/3期 実績	前年同期比
国内	11	15	+3
海外	71	22	-48
連結	83	37	-45

22/3期 見通し	前年同期比
61	+46
21	-1
83	+45

減価償却費	47	44	-2
-------	----	----	----

40	-4
----	----

本資料における将来情報は、2021年5月時点での見通しであり、
その実現を保証するものではありません。

(金額は切捨て、%は小数第二位を四捨五入にて表示)

END